

第2回 泥んこになったけど秋の稲刈りが楽しみ！田植え体験

月 日：令和6年6月7日（金）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 5年生 32 名

5年生児童32名で田植え体験しました。最初に、農場で三重大学の先生から、上手な田植えのやり方について説明を受け、その後、裸足になり田んぼの中に入りました。



（三重大学の先生のお話）

苗は呼吸しているので、水面下に全部沈めてしまわないように植えましょう。
田んぼから足が抜けなくなったら、かかとだけを浮かせてつま先立ちになるようにしてから
そっと足を抜くと、うまく抜けるよ。



（子どもたちの声）

- ・足の指の間に田んぼの泥が入ってくる感触がとても気持ちよかった。
- ・稲の苗の束（たば）から数本を取り分けて植えたりするのが初めての体験で楽しかった。
- ・田植え機に乗れて、機械の操作をしたことが楽しかった。
- ・田植えのやり方が分かってとてもよかった。昔の農家の方が手作業でお米作りをしていた大変さがわかった。秋の稲刈りがとても楽しみになった。

～先生の感想～

普段できない手植えや、6人でしたが田植え機に乗せてもらうなどの貴重な体験ができました。

田植え体験に予想以上の時間がかかってしまい、時間が足りなくなった。
社会科（1学期）の単元「米作りのさかんな地域」の学習に対して、体験できた
内容が意欲づけや理解の深まりにつながった。（5年生担任）

